

南波止場1番地

鈴木志郎康のb2evolution blogです

アーカイブ: 2006年6月

2006/06/26

🕒 12:22:55, カテゴリ: [memo](#), views: 1524 

Firefoxによる投稿テスト

昨日咲いた薔薇の花。

• [編集](#) 

🕒 12:00:39, カテゴリ: [memo](#), views: 1641 

貰った詩集を読んで、その詩人に会ったこと。

昨年「詩の実質」を書いてから、詩集を貰った詩人に会って話を聞いた。そのことを「[曲腰徒歩新聞](#)」の2005年11月29日に「詩の実質」の[実践行動](#)という記事に書きました。それから、少しだけ詩集が読めるようになってきた。実践結果として、「るしおる」60号に「詩の現前に向かって」を書いた。これも近いうちにアップします。

• [編集](#) 

2006/06/25

🕒 23:04:54, カテゴリ: [memo](#), views: 3610 

詩の実質

極私的詩ノート

0.

わたしは詩について纏まった文章を書くことを避けてきた。自分が詩を読むことができない状態にいることを考えると面倒だったのです。詩集を開くと、「これは詩だ」という意識が突き上げてきて、「詩は読んでも仕方ない」という気になり、読めなくなる、という状態なんです。そして、詩を書く人との付き合いも狭く限定してきた。そうして多分十年余り経ったのではないのでしょうか。最近、書いた人の手を離れて印刷された詩は、まだ進んで読む気にはなれませんが、書いた人が目の前にいれば、何とか詩を読んで楽しむことができるようになった。また詩について話す機会があると読めるようになった。そうして、二ヶ月ほど前に、全く初めて詩を書いてみるという七、八人の人達を相手にした講座を持って、詩を「作品」として書くというより自分の内面を伝えるコミュニケーションの媒体として書いて、互いにどう読めるかを話し合う場を持ったとき、そこに言葉の詩的発想の原形を見たように思えて、楽しくなった。つまり、詩をメディアに投じて受け止めるというのではなく、詩を人と話をする中核に置いて、語り合う関係を作る機会をつくるものとしたとき、読む理由がはっきりしてきたということなのです。そのことを踏まえて、詩について考え文章を書いてみようかと思う。

南波止場1番地

南波止場1番地の鈴木志郎康の家

- [最新](#) (キャッシュ)
- [最新](#) (キャッシュされない)

2006年6月				
日	月	火	水	木
				1
4	5	6	7	8
11	12	13	14	15
18	19	20	21	22
25	26	27	28	29
<<	<			

- [最近のコメント](#)

Heavy Hitters

- [白鳥信也詩集『ウォー!カー』の詩の解題](#) (13 visits)
- [<h2>愛を生ききる台詞 水邦夫の戯曲について](#)
- [長尾高弘詩集『右向け! 年4月6日発行』](#) (10 visits)
- [「第6回萩原朔太郎賞受 鈴木志郎康」に行っ](#) (visits)
- [坪田義史監督作品『美!気分』「ガロ」の漫画の境涯](#) (8 visits)
- [渡辺洋詩集『向日 歌! 肆山田2010年刊』の感](#)
- [森三キ工詩集『沿線植](#) (visits)
- [須永紀子詩集『空の庭、想](#) (6 visits)
- [五十嵐倫子詩集『色ト! の感想](#) (6 visits)
- [南原充土詩集『笑顔の](#) (6 visits)
- [表現の現前性\(多摩美術 劇学科年報「映像演劇](#) (visits)
- [Ex@lorerからの書き込](#)

 [続きを読む!](#)

[2 コメント](#)・[編集](#)



検索

- 全ての語
- いずれかの語
- フレーズ

カテゴリ

- [All](#)
- [memo](#) (24)
- [日記](#) (4)

アーカイブ

- [2013年4月](#) (1)
- [2010年8月](#) (1)
- [2009年8月](#) (2)
- [2009年7月](#) (2)
- [2008年12月](#) (1)
- [2008年10月](#) (1)
- [2008年9月](#) (3)
- [2007年12月](#) (1)
- [2007年11月](#) (2)
- [2007年10月](#) (3)
- [2007年5月](#) (1)
- [2006年6月](#) (3)
- [続き...](#)

いろいろ

- [管理](#)
- [プロフィール \(admin\)](#)
- [ログアウト \(admin\)](#)

このブログの配信

- RSS 0.92: [投稿](#), [コメン](#)
- RSS 1.0: [投稿](#), [コメント](#)
- RSS 2.0: [投稿](#), [コメント](#)
- Atom: [投稿](#), [コメント](#)

[What is RSS?](#)

powered by
b2evolution

Original template design by [François PLANQUE](#).

